

中編索引（生薬、一部方剤などを含む）

ア

- 亜的児（アーテル） 中-100
 エーテルのこと
亜鉛華散（アエンカサン） 中-44
 亜鉛錬華の粉末を用いて製したもの
亜鉛錬華（アエンレンカ） 中-44
 亜鉛を燃焼などにより酸化させた酸化亜鉛（ZnO）
阿魏（アギ） 中-24、25、31、33、34、91、92
 セリ科のアギの根茎から得られる樹脂のこと
阿芙蓉（アフヨウ） 中-22、23、41、46、65
 けし（芥子）の別称
阿片（アヘン） 中-24、41、43、46、52、53、56、65、92
 ケシの未熟果実から採取される乳汁の乾燥物。阿芙蓉とも称される
亜刺吉（アラキ） 中-78
 ナツメヤシの樹液などを発酵・蒸留させて製した酒
亜刺比亜膠（アラビアコウ） 中-27、46
 マメ科アラビアゴムノキの樹皮の傷口からの分泌物を乾燥させたもの
亜刺比亜蘧謨（アラビアゴム） 中-37、72
 マメ科アラビアゴムノキの樹皮の傷口からの分泌物を乾燥させたもの
安息香（アンソクコウ） 中-29、55
 エゴノキ科のアンソクコウノキが産出する樹脂

イ

- 硫黄糕（イオウコウ） 中-59
 硫黄錬華と常用舎利別を混合して製したもの
硫黄精（イオウセイ） 中-42、72
 希硫酸のことで、硫酸と蒸餾水で製する
硫黄錬花（イオウレンカ） 中-30、47、48
 硫黄を加熱した時の蒸気を急冷して得られる黄色の粉末、硫黄泉の噴出口に見られるもの
硫黄錬華（イオウレンカ） 中-59
 硫黄を加熱した時の蒸気を急冷して得られる黄色の粉末、硫黄泉の噴出口に見られるもの
石蜜（イシミツ） 中-37、43、61
 凝固した蜜、氷砂糖

ウ

- 湧劑（ウイザイ） 中-49、50
 吐根末又は吐酒石と砂糖をお湯に加えて製したもの
茴香（ウイキョウ） 中-97、102
 セリ科のウイキョウの果実
茴香油（ウイキョウユ） 中-102
 茴香から得られた油成分
烏頭（ウズ） 中-21、49
 キンボウゲ科カマトリカブトの母根

オ

- 黄石丸（オウセキガン） 中-30

硫黄鍊花と硝石を混合して丸剤にしたもの
黄石散（オウセキサン） 中-47
硫黄鍊花と硝石、砂糖を混合して製したもの
罌粟子（オウゾクシ） 中-71
ケシの種子のこと
黄龍散（オウリュウサン） 中-41
金硫黄、龍腦と硝石を混合して製したもの
御米漚（オコメトウ） 中-71
罌粟子を乳汁で煮たもの
於菟乳（オトニュウ） 中-42、43、45
於菟（オト）とは虎または猫の異名で、猫のお乳と考えられる
遠志末（オンジマツ） 中-50
遠志はイトヒメハギの根、その粉末

カ

回春橙（カイセイトウ） 中-18、19、20、63、64、71、77、81、88、89
ダイダイとも云われるミカン科の常緑小高木の果実
海葱（カイソウ） 中-35、73、80、80、93、102
ユリ科の多年草
煨於菟乳（カオトニュウ） 中-67
於菟（オト）とは虎または猫の異名で、猫のお乳と考えられることから、煨於菟乳は於菟乳を加
熱したもの
火酒（カシュ） 中-65、68、77、80
アルコール分が多い蒸留酒
藿香（カッコウ） 中-64、76
シソ科パチョリの地上部の乾燥物
葛上亭長（カツジョウテイチャウ） 中-36、37
ミツハンショウ科の昆虫
加密列露（カミツレロ） 中-70
加密列（キク科のカモミール（カモマイル、カモミーユ、和名：カミツレ）の頭状花）を水に
浸して製したもの
蜀葵舍利別（カラアオイセーローブ） 中-86
蜀葵（アオイ科の越年草）をシロップし製したもの
煨鹿角末（カロッカクマツ） 中-36
鹿角を焼いた後に粉末にしたもの
乾姜（カンキョウ） 中-15、55
ショウガの根茎を乾燥したもの
甘汞（カンコウ） 中-27、30、33、34、37
塩化第一水銀 Hg_2Cl_2 のこと
葶菜酒（カンサイシュ） 中-77
葶菜（ウヌガラシともいわれるアブラナ科の多年草）を白葡萄酒に浸して製したもの
葶菜葉（カンサイヨウ） 中-77
葶菜の葉
甘硝石精（カンショウセキセイ） 中-99
アルコールに硝酸を少量加えたもの、亜硝酸エチル（ $\text{CH}_3\text{CH}_2\text{ONO}$ ）とも云われる
肝色安質謨（カンショクアンチモ） 中-78
黙他児雑腹蘭（ヌタールサフラン）とも云われる

肝色硫黄（カンショクイオウ） 中-52
硫黄と生石灰を加熱して得られるもの
甘草（カンゾウ） 中-17、20、25、27、47、72、95
マメ科ウラルカンゾウやスペインカンゾウの根などの乾燥物
甘巴旦杏乳（カンハタンキョウニュウ） 中-70
甘巴旦杏（甘いアーモンド）から得られる乳成分
甘巴旦杏仁（カンハタンキョウニン） 中-55
甘巴旦杏の種子
肝硫散（カンリュウサン） 中-52
肝色硫黄の粉末

キ

幾那（キーナ） 中-16、42
アカネ科キナ、またはその同属植物の樹皮キニーネの原料にもなる
機那（キーナ） 中-15、38、55、62、67、74、75、76
幾那と同じもの
枳殻（キコク） 中-32
ミカン科カラタチの落葉低木の未成熟果実の乾燥物
纈草（キッソウ） 中-23、34、56、62、92
オミナエシ科の多年生植物で、不眠症や精神高揚等に効果があるとされている
姜（キョウ） 中-65
生姜のこと
姜黄（キョウオウ） 中-20
ショウガ科ウコン属の一種の多年草で、ハルウコンとも呼ばれる
羌活（キョウカツ） 中-75
セリ科のキョウカツなどの根や根茎を乾燥したもの
金硫黄（キンイオウ） 中-35、41、48
硫化アンチモン的一种で化学式は Sb_2S_5
牛膽（ギュウタン） 中-20、25、31
牛の胆汁を乾燥させたもの
銀朱（ギンシュ） 中-29、45
硫化水銀のこと

ク

苦楝根皮（クレンコンピ） 中-35
センダンおよびトウセンダンの根皮
黒鋼（クロガネ） 中-14、15、16、19
鋼鉄屑と硫黄から製したもの

ケ

桂枝（ケイシ） 中-15、36
クスノキ科ケイの小枝を乾燥させたもの
雞子黄（ケイシオウ） 中-17、52、105
ニワトリの卵黄
雞子白（ケイシハク） 中-17
ニワトリの卵白
桂皮（ケイヒ） 中-55、59、74、75、76、91、94、97
クスノキ科ケイの乾燥樹皮

蠲蠃酛（ケンバイチュウ） 中-78

猛汞と龍腦を酒に溶かして製したもの

醃酢（ゲンサク） 中-81、82

濃いお酢のこと

醃醋（ゲンサク） 中-73、81

濃いお酢のこと

健質亜那（ゲンチアナ） 中-14、19、20

リンドウ科のゲンチアナの根及び根茎

コ

香櫞皮油（コウエンピユ） 中-63

香櫞皮（ミカン科ミカン属のシトロンやイーチャンレモンの成熟果皮）から得られる油成分

香橙皮末（コウトウヒマツ） 中-57

橙皮（ダイダイ）の中で香の強いものの成熟果皮を粉末にしたもの

胡椒（コショウ） 中-59

胡椒のことと考えられる

琥珀油（コハクユ） 中-62、104

琥珀を乾留して得られる、淡黄色で不快な臭いのある揮発性の液体

枯礬（コバン） 中-35

明礬を加熱して水分を蒸発させたもの（無水物）

牛黄（ゴオウ） 中-28

牛の胆のう中に生じた結石

胡粉（ゴフン） 中-35

貝殻から作られる白色の粉末で主成分は炭酸カルシウム（塩基性炭酸鉛）

胡麻仁（ゴマニン） 中-57

ゴマの種子を乾燥したもの

趯謨安没尼亜幾（ゴムアンモニアキ） 中-22、26

セリ科のオオウイキョウ属の植物より得られるゴム状の樹脂

趯謨安謨尼亜吉（ゴムアンモニアキ） 中-18

セリ科のオオウイキョウ属の植物より得られるゴム状の樹脂

趯謨安没尼亜幾（ゴムアンモニアキ） 中-35

セリ科のオオウイキョウ属の植物より得られるゴム状の樹脂

サ

泊夫藍（サフラン） 中-21、65、74、75、76

アヤメ科サフランの柱頭の乾燥物

珊篤里草（サントリースウ） 中-75

西洋から伝来した芳香性の薬草（サントリナ/サントリ系）と思われる

山奈（サンナ） 中-79

ショウガ科のバンウコンの根茎を輪切りにして、乾燥したもの

シ

史君子（シクンシ） 中-35

シクンシ科シクンシ属のシクンシの成熟果実

雌雞（シケイ） 中-83

にわたりのメス

沙蘿蔔根（シャラトウコン） 中-77

西方（インド・ペルシャ?）から伝来した果実名でブドウ系の根と思われる

瀉利塩（シャリエン） 中-75

マグネシウムの含水硫酸塩の鉱物、硫酸マグネシウムの7水和物

硃砂（シュサ） 中-28

天然辰砂鉱石（主成分は硫化水銀 HgS ）

酒石（シュセキ） 中-52

酒石酸とミネラル（カリウムやカルシウムなど）が結合してできた物質で酒石酸水素カリウムと考えられている

酒石塩（シュセキエン） 中-29、80

酒石酸カリウムナトリウム（ $\text{KNaC}_4\text{H}_4\text{O}_6 \cdot 4\text{H}_2\text{O}$ ）のこと

小茴香（ショウウイキョウ） 中-59

セイ科のウイキョウの成熟果実

焼酒（ショウシュ） 中-21、38

焼酎の古い呼び名

硝石（ショウセキ） 中-24、30、39、41、45、47、65、70

硝酸塩鉱物の一種で、化学組成は硝酸カリウム（ KNO_3 ）

菖蒲（ショウブ） 中-40

サトイモ科のショウブ

白葡萄酒（シロブドウシュ） 中-78

榛子仁（シンシジン） 中-59、70

榛子（ハシバミ、カバノキ科の落葉低木）の実

辰砂（シンシャ） 中-24

朱砂とも言われる辰砂鉱石で硫化水銀(II)(HgS)からなる

真没薬（シンボツマツ） 中-17

没薬（モツヤク）の中で、特に上質なものを

真没薬（シンボツヤク） 中-15、21、29、33、40

没薬（モツヤク）の中で、特に上質なものを

寔吉打力思（ジキターリス） 中-39、52

ジギタリス（強心配糖体）の当て字

實芰答利斯（ジギタリス） 中-69

ゴマノハグサ科キツネノテブクロの葉の乾燥物

麝香（ジャコウ） 中-16、17、23、29

ジョコウジカの雄の麝香腺分泌物を乾燥したもの

常山末（ジョウザンマツ） 中-51

常山はユキノシタ科のジョウザンの根を乾燥したもので、その粉末

常用舎利別（ジョウヨウセーローブ） 中-21、59、60、80

砂糖をお湯に溶かして粘稠にしたもの

ス

水銀（スイギン） 中-27、28、52、53

水銀 Hg のこと

水楊梅（スイヨウバイ） 中-75、79

ダイコンソウの中国名。ダイコンソウはバラ科に属する多年草

セ

清潤漿（セイジュンショウ） 中-71

回青橙汁に砂糖を加えたもの

生石灰水（セイセッカイスイ） 中-68

生石灰は酸化カルシウム (CaO) のことでその水溶液
石長生舎利別 (セキチョウセイセーローブ) 中-30、87
石長生 (カツベラソウ、イノモトソウ科の常緑多年草、別名ハコネソウ) に甘草と砂糖を加えて
シロップ状に製したもの
石榴根皮 (セキリュウコンピ) 中-51
ミソハギ科ザクロ属ザクロの根皮
石灰水 (セッカイスイ) 中-68
水酸化カルシウムの水溶液のこと
接骨木 (セッコツボク) 中-81、82
接骨木はニワトコ (スイカズラ科ニワトコ属の落葉低木) のこと
雪蠶蛻 (セツサンゼイ) 中-28
白く良質な蚕の抜け殻 (蠶蛻) のこと
摂綿施那 (セメンシナ) 中-34
ラテン語の *Semen cina* の当て字と考えられる。キク科の多年草

ソ

桑椹舎利別 (ソウジンセーローブ) 中-89
桑の実を用いて製したシロップ剤
蘇合香 (ソゴウコウ) 中-18
マンサク科のフウ属植物の樹幹に傷をつけて得られる樹脂
蘇合油 (ソゴウコユ) 中-36
マンサク科のフウ属植物の樹幹に傷をつけて得られる樹脂から得られる油
栗穀舎利別 (ゾッコクセーローブ) 中-63、64、87
栗穀 (ゾクカク、成熟した栗の種子) を用いて製したシロップ剤

タ

大茴香 (ダイウイキョウ) 中-33、75、76
マツブサ科シキミ属のトウシキミの果実
大黄 (ダイオウ) 中-25、27、29、31、32、33、34、43、44、48、58、71、78、90
タデ科ダイオウ属のショウヨウダイオウ、タンゲートダイオウ、バテイダイオウなどの根茎
大麥 (ダイバク) 中-40、71、72、88、94
イネ科の穀物
蛇根酎 (ダコンチュウ) 中-62
蛇根と呼ばれる薬草を酒にして製したもの

チ

蟲白蠟 (チュウハクロウ) 中-28
別名イボタ蠟はイボタノキに群生するイボタロウカイガラムシが分泌するもの
丁香 (チョウコウ) 中-15、59、75
丁子 (チョウジ) とも言われ、フトモモ科のチョウジのつぼみ
丁子 (チョウジ) 中-65、76
フトモモ科のチョウジのつぼみ
陳皮油 (チンピユ) 中-33
陳皮 (ウンシュウミカンやマンダリンオレンジの成熟した果皮の乾燥物) かれ得られる油成分

テ

鉄銹 (テッシュウ) 中-16
第二酸化鉄のこと

鐵鏞（テツシュウ） 中-29
鐵のさびのこと
鐵屑（テツセツ） 中-74、93
鐵くずのこと
鐵屑耐（テツセツチュウ） 中-93
鐵くずをお酒に浸けたもの
鐵礬（テツバン） 中-34
柘榴石群に属する鉱物で、赤色から暗赤色の結晶、化学式は $\text{Fe}_3\text{Al}_2(\text{SiO}_4)_3$
底野迦（テリアカ） 中-55、56
猪脂など数種の薬剤を蜂蜜で練り合わせたもの
的列竝底那（テレビンテイナ） 中-36
膠のように粘稠で辛苦烈香のある樹脂（遠西醫方名物考卷 14）
泥菴根末（デイショウブコンマツ） 中-34
ショウブ科のショウブ根茎を粉末にしたもの

ト

橙皮末（トイヒマツ） 中-36、55
橙皮（橙の成熟果実の皮を乾燥したもの）を粉末状にしたもの
藤黄（トウオウ） 中-33
フクギ科の植物からとった黄色の樹脂で、雌黄や石黄とも称される
橙汁舍利別（トウジュウセーロープ） 中-70
ミカン科の橙またはダイダイの果肉の絞り汁を用いたシロップ剤
桃仁（トウニン） 中-57
バラ科のモモの種（仁）を乾燥させたもの
篤耨油（トクドウユ） 中-104
篤耨は外来語の音写と考えられることから、南方交易で入った芳香性の樹脂と思われる
杜衡（トコウ） 中-50
寒葵（ウマノスズクサ科の多年草）のこと
吐根（トコン） 中-46、49、50
アカネ科トコンの根及び根茎の乾燥物
吐酒（トシュ） 中-78
肝色安質膜を白葡萄酒に浸して製したもの
吐酒石（トシュセキ） 中-39、49、50、66
アンチモン化合物及びそれを含有するもので、主成分は酒石酸アンチモニルカリウム
（ $\text{KSb}(\text{C}_4\text{H}_2\text{O}_6) \cdot 1.5\text{H}_2\text{O}$ ）
杜松子（トショウシ） 中-79、90、98、102、103
ヒノキ科ネズの果実
硃砂（ドウシャ） 中-59、60、62、70、82、92、101
塩化アンモニウムのこと

ナ

鉛（ナマリ） 中-28
鉛 Pb のこと
鉛糖（ナマリトウ） 中-41、70
酢酸と鉛がつくる塩で、酢酸鉛(II)と酢酸鉛(IV)がある。その中で酢酸鉛(II)は甘味があるので鉛糖と呼ばれる

ニ

肉桂末（ニクケイマツ） 中-15
肉桂（クスノキ科ニクケイ属のケイの幹の樹皮）を粉末にしたもの
肉豆蔻（ニクズク） 中-14
ニクズク科ニクズクの種皮を除いた種子
乳香（ニュウコウ） 中-18、19、28、29、36
カンラン科ボスウェリア属樹木の樹脂
乳汁（ニュウジュウ） 中-71
お乳の事

ノ

野薔薇花（ノバラカ） 82
ノイバラとも言われ、バラ科の落葉性のつる性低木の花

ハ

白堊土（ハクアド） 中-40
白くて柔らかい石灰質の土
白桂（ハクケイ） 中-19、55、74
桂で外皮を除いた白っぽい内皮と考えられる
薄荷（ハッカ） 中-19、40、61、62、63、64、75、79
シソ科のハッカの地上部
發汗安質謨（ハッカナンアンチモ） 中-46
安質没扭と硝石を加熱・熔融したもの
半夏末（ハンゲマツ） 中-25、60
半夏（カラスビシャクのコレク層を除いた塊茎）を粉末にしたもの
番茄（バンカ） 中-77
トマトのこと

ヒ

白檀（ビャクダン） 中-75
ビャクダン科ビャクダンの木質心材
檳榔（ビンロウ） 中-35
ヤシ科のビンロウ（和名：ビンロウジュ）の種子

フ

覆盆子（フクボンシ） 中-66、89
バラ科のゴシヨイチゴの未成熟集合果を乾燥したもの
芙蓉丸（フヨウガン） 中-22、23
芙蓉（アオイ科の植物）を用いて製した丸剤
蕪苡仁（ブイニン） 中-35
膜状の翼を除き発酵加工したニレ科ニレ属チョウセンニレの種子
茯苓末（ブクリョウマツ） 中-22、23
茯苓（松の根に寄生するサルノコシカケ科のマツホドの菌核を乾燥させたもの）の粉末
沸手柑瓢舎利別（ブッシュカンジョウセーロープ） 中-88
沸手柑（ブッシュカン、はミカン科の一種で、果実の先端が分岐している）の分岐の部分（瓢）
を用いて製したシロップ剤
葡萄酒（ブドウシュ） 中-18、56、63、64、65、75、79、91、99、100、104、105、107
ブドウ酒

ホ

蒲公英熬膏（ホコウエイゴウコウ） 中-96

蒲公英はキク科のタンポポ属の総称で、蒲公英を煮詰めて膏薬にしたもの

芒硝（ボウショウ） 中-47、78

硫酸ナトリウムのこと

マ

玫瑰（マイカイ） 中-21、36、67、73、85

玫瑰はバラ科ハマナスのことで、主に花蕾が用いられる

玫瑰花（マイカイカ） 中-21、67

玫瑰の花弁を乾燥したもの

茉莉酎（マツリチュ） 中-92

モクセイ科のツル性常緑低木（茉莉）を焼酎に浸けたもの？

蝮蛇（マムシ） 中-56

クサリヘビ科のへび

ミ

蜜（ミツ） 中-56、73

明礬（ミョウバン） 中-45

天然の明礬石を精製した結晶(硫酸アルミニウム・カリウム $\text{KAl}(\text{SO}_4)_2 \cdot 12\text{H}_2\text{O}$)

民埵列里精（ミンデレリセイ） 中-82

酢酸アンモニウムのこと

ム

無花果（ムカカ） 中-71

クワ科のイチジクの実

無灰酒（ムハイシュ） 中-77

石灰（酸化防止剤）を含まない酒

メ

綿馬根末（メンマコンマツ） 中-51

綿馬根（シダ植物のオンダ属の根茎を乾燥したもの）を粉末状にしたもの

モ

猛汞（モウコウ） 中-26、78

塩化水銀(II) HgCl_2 のことで、昇汞とも言われる

木香末（モッコウマツ） 中-51

木香（キク科のモッコウの根を乾燥物）を粉末に製したもの

没薬（モツヤク） 中-19、22、35

カンラン科のミルラノキ属の樹皮から流出した樹脂

ヤ

葯刺巴末（ヤーラツパ） 中-51

葯刺巴（ヒルガオ科のつる性多年草、主に塊根を用いる）を粉末にしたもの

益智（ヤクチ） 中-55、75、76

ショウガ科の多年草。果実を陽乾したものを用いる

ユ

熊膽（ユウタン） 中-20、29
熊の胆嚢

ヨ

孕礬酒石（ヨウハンシュセキ） 中-46、47
亜硫酸カリウムと考えられるもので、硫酸剥簾亜斯と同じもの

ラ

雷遺塩（ライイエン） 中-19、32
硝石と硫黄花を加熱して製したもの
雷丸（ライガン） 中-35
サルノコシカケ科タマチョレイタケ属ライガンキノの菌核
蛭蛄石（ラッコイシ） 中-29、39、45
蛭蛄はザリガニのことで、蛭蛄石はザリガニの胃の中にある米粒大の炭酸石灰質の分泌物
蘿蔔汁（ラフクジル） 中-45
蘿蔔は大根の別名

リ

龍膽熬膏（リュウタンゴウコウ） 中-26
龍膽（リンドウ科トウリンドウの根および根茎の乾燥物）を煮詰めて膏薬にしたもの
龍腦（リュウノウ） 中-22、23、24、37、38、39、41、42、53、75、78、81
フタバガキ科のリュウノウジュの樹脂を加工したもの
硫礬散（リュウバンサン） 中-45
明礬に砂糖を加えて散剤に製したもの
良姜（リョウキョウ） 中-19、22、36、40、75、76
ショウガ科リョウキョウの根茎を乾燥させたもの
涼蜜（リョウミツ） 中-73
醃醋と蜜を均一に混合したもの
緑礬（リョクバン） 中-21、67、76
硫酸塩鉱物の一種で硫酸鉄(II)の7水塩
緑礬精（リョクバンセイ） 中-76
緑礬を加熱蒸留して得られたもの

ロ

蘆薈（ロカイ） 中-21、22、33、75
アロエのこと
鹿角（ロッカク） 中-62、83、84、100、106
シカの角、乾燥させた粉末としたもの